

吉見総合運動公園 県営公園の管理運営に関する事業計画書 概要版

1 管理運営に関する基本的事項

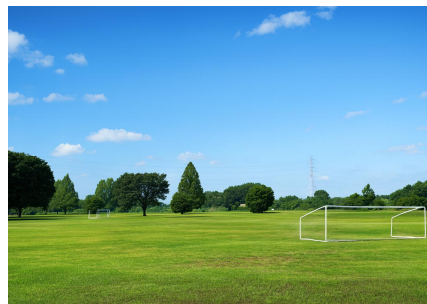
(1) 吉見総合運動公園の管理運営におけるテーマと方針

**豊かな自然環境を舞台に、人が集い・交流が育まれ、
地域を盛り上げる公園へ**

公益財団法人埼玉県公園緑地協会と一般社団法人埼玉県造園業協会は、共同事業体である「吉見総合運動公園マネジメントネットワーク」を組織しました。

両者が培ってきた公園運営や植栽・園地管理の経験を活かし、本公園の価値を最大限に引き出すとともに、「スポーツ・健康づくり」「グリーンインフラ」「地域連携」「安全・安心・快適環境」の4つを基本方針に取り組みます。

にぎわいと交流を広げ、公園と地域がともに成長する拠点へと進化させていきます。



○4つの基本方針

①スポーツ・健康づくり

利用者が気軽に運動を始め、継続できる拠点機能を高めます。

②グリーンインフラ

河川敷の自然を守り、学びや体験を通じて生態系を未来へ継承します。

③地域連携と交流

地域と協働し、イベントやボランティアを通じてにぎわいを創出します。

④安全・安心・快適

子どもから高齢者まで誰もが訪れやすく、日常的に親しまれる環境を整えます。

<吉見総合運動公園マネジメントネットワーク構成員のノウハウと役割>

構成員	ノウハウ・強み	本公園における役割
公益財団法人 埼玉県公園緑地協会	開園当初から指定管理制度導入前までの管理実績、河川敷公園の運営経験	公園全体の統括、施設管理、地域連携の推進
一般社団法人 埼玉県造園業協会	県営公園での植栽・園地管理を通じた高度な造園技術と経験	園地・植栽管理、環境保全、快適な利用環境の維持

(2) 指定管理者の責務

本グループは、指定管理者として以下の責務を果たします。

①法令遵守とコンプライアンス

地方自治法・都市公園法等を遵守し、公平・公正・平等な利用を確保します。

②安全・安心の確保

事故を未然に防ぎ、防災・防犯対策を徹底して、災害時には的確に対応します。

③質の高い管理運営

効率的で効果的な運営を実現し、利用者満足度 85%以上の達成を目指します。

④社会的責任の遂行

多様化するニーズに応え、地域活性化や・少子高齢化など社会課題に対応します。

⑤透明性ある運営

内部統制・外部監査を通じた健全なガバナンスを確保します。

2 人員配置計画等

(1)人員配置計画

- ・各業務に求められる専門性・資格・経験を精査し、的確な人員を配置します。

(2)組織体制・指揮命令系統と役割分担

- ・埼玉県公園緑地協会が共同事業体の統括機関を担います。
- ・施設特性や利用者像に応じた人員配置を行い、機能的な運営体制を構築します。

(3)人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

- ・業務継続と品質確保のため、適格な人材を安定的に確保します。
- ・「公の施設」の担い手として、利用者視点と公共性を兼ね備えた人材を配置します。
- ・担当領域に精通した専門人材を要所に配置します。
- ・段階的な研修（マナー・安全・専門研修）で継続的なスキル向上に努めます。

区分	内容例
基本研修	マナー・接客研修／コンプライアンス研修／安全研修／個人情報保護／救命講習
階層別・マネジメント研修	階層別研修(新規採用～管理職)／マネジメント研修(基礎～上級)
専門研修	施設管理・植栽・緑化／動物管理／法令・制度等の専門講習
防災・危機管理研修	消防訓練／防犯訓練／危機管理(KY・ヒヤリハット)／災害対応訓練／BCP 訓練

3 管理運営計画

(1)来園者・利用者サービスの向上

- 利用者視点に立ち、わかりやすいホームページや案内看板を整備します。
- ハンモックやタープの貸出、ベンチ・縁台の設置など「快適な空間」を創出します。
- 利用者との対話を重視し、ニーズ把握と「ワンデーレスポンス」を徹底します。
- キャッシュレス決済導入など DX を進め、利便性を高めます。

(2)公園のにぎわい創出等に関する取組

①スポーツ・健康づくり

- テニスやサッカー、野球場など早朝営業（夏季土日祝）を実施し朝活の拠点にします。
- パークゴルフ親子大会やプロスポーツチームとの交流イベントを開催します。
- 秋ヶ瀬公園「バイクロア」と連携し、本公園でシクロクロス大会を新設します。
- 「県民スポーツの日」に多世代参加型イベントを企画します。
- プレーカーによる「移動あそび場」、絵本キャラバン隊を誘致し、子どもが気軽に遊べる空間を整えます。
- 管理事務所に「キッズスペース」を新設し、子育て世代の利用を後押しします。
- ピックルボールやモルック等、軽スポーツ用具の貸出を充実させ、気軽にスポーツに親しめる環境を提供します。

モルック体験



移動あそび場



自転車イベント（バイクロア）



②グリーンインフラ

- 荒川横堤の役割を学ぶ防災教育プログラムを実施します。
- 自然観察会や星空観察会を定期開催し、環境学習と自然とのふれあいを推進します。
- 循環型発想で養蜂や菜の花景観づくりを推進し、地域資源を持続的に活用します。

③地域連携と交流

- 大宮第二公園で実績のある「防災車中泊&キャンプ Fes.」を新たに開催します。
- 公園まつり「ふれあいフェスタ」を刷新し、地域の主力イベントへと発展させます。
- 吉見町の「フレンドシップハイツよしみ」再生に協力し、町との協働を深めます。
- 「ボトル to ボトル」リサイクル事業を導入し、地元企業・町との協働を推進します。
- 社会福祉協議会と連携し、ボランティアプログラムを創設します。

④安全・安心・快適

- タブレット活用による点検と記録・修繕対応の迅速化。
- QRコード付き案内板を設置し、スマホで施設位置情報を提供。
- 自治会や地域団体と連携した避難訓練・防災訓練を定期実施。
- 住民参加型の水防訓練（土嚢作り等）を実施。

(3)地域防災力と収益性を高める自主事業の提案

本公園は河川敷立地の特性上、利用が季節や天候に左右されやすく、また水害リスクにも直面しています。こうした環境下で安定的に来園者を呼び込み、同時に地域防災にも資する仕組みを整えることが課題となっています。

この課題に対応するため、防災とアウトドアを融合した自主事業を展開します。まずは「防災車中泊&キャンプ Fes.」を定期開催し、利用者ニーズや運営課題を検証し、その成果を踏まえて段階的に「防災対応型 RV パーク&オートキャンプ」へ発展させます。

具体的には、可搬式キャンピングトレーラーを受付施設として設置し、駐車場内に電源付き RV 区画 10 区画とリーズナブルなオートキャンプ区画を整備することで、幅広いニーズに対応できる拠点を目指します。

○本事業がもたらす効果と意義

- イ) 平常時にはアウトドア利用による新たな集客・自主財源の確保
- ロ) 災害時には防災・避難拠点として機能
- ハ) 公園の多目的活用と地域の防災力強化への貢献



受付用の可搬式キャンピングトレーラー
(導入イメージ)



電源区画を備えた RV パーク・オートキャンプ場
(利用イメージ)

4 施設維持管理計画

(1)安心・安全な公園利用を支える取組

■基本方針

利用者の安心・安全を最優先に、計画的維持管理と技術向上で管理水準を高めます。

■取り組み内容

- 年間・月間・週間の計画的な維持管理を実施し、PDCA で品質を継続的に改善します。
- 日常業務で得た知見を蓄積・マニュアル化し、継続的改善を図る
- 安全研修や各種講習を計画的に実施し、職員の対応力を強化



各種マニュアルを整備し、日常点検を徹底することで安心・安全な公園利用を支えます。

(2)事故・災害への対応体制の強化

■基本方針

自然災害や事故リスクを踏まえ、予防と初動対応を強化し、迅速かつ確実に利用者の安全を守る体制を構築します。

■取り組み内容

- 巡回や植栽管理を通じた安全確保と視認性の向上
- 熱中症対策や危険箇所の立入制限、AED 常備などによる事故防止
- 自然災害・事故発生時の危機管理マニュアル整備、BCP 策定
- 災害訓練を定期実施し、職員・利用者の初動対応力を向上
- 設備盗難への対応（令和 6 年度のトイレ水栓・電源ケーブル盗難被害を受け、マンホールロックや水栓金物固定を実施）



植栽管理の実施や AED を使用した応急処置訓練、防災研修などを重ねることで、職員一人ひとりが事故や災害に迅速かつ的確に対応できる体制を整えています。

(3)施設の修繕・長寿命化への取組

■基本方針

予防保全を基本に、定期点検や計画的修繕・更新を進めます。特に開園から 40 年以上経過した施設や高木化した樹木については重点的に調査・対応を行い、長寿命化を図ることで安全で快適な利用環境を確保します。

■取り組み内容

- 予防保全の考えに基づく点検・整備
- ライフサイクルマネジメントを取り入れた維持管理
- 中長期的な視点での修繕・更新により、持続可能な公園運営を実現
- ICT を活用した劣化状況の記録・分析により、修繕計画を精緻化